

一般財団法人 日本LCIF

青少年に夢と希望を

日本LCIFは、我が国の次代を担う青少年が「夢」や「希望」を失うことなく、高い志を抱き、思いやりの心を持って、自立への道を歩むことができるよう、以下の事業に取り組んでまいります。

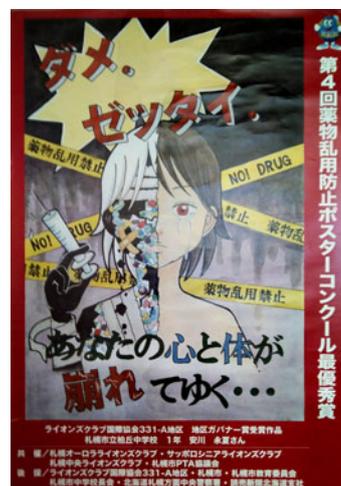
児童養護施設の「寺子屋」事業



- 国内約330カ所の児童養護施設には約3万人の子どもがおり、そのうちの約2万人は児童虐待の経験者であるといわれています。
- 児童虐待の経験者の多くは、学ぶべき学年に応じた基礎学力が十分に身に付いていないと指摘されています。
- 当財団は、児童養護施設の小学生の指導に、公認NPO法人等から学習支援員を派遣して、学習の遅れがある子どもたちが基礎を身に付けられるよう支援します。

小中学生の薬物乱用防止事業

- 薬物の乱用は依存症を引き起こし、精神障害を発症させ、重大な犯罪の誘発、家庭や人間関係の崩壊、社会秩序の乱れ等の要因にもなります。
- 現在、スマートフォンの普及などに伴い、小中学生が薬物の情報に触れることが容易になってきています。
- 当財団は、小中学校での薬物乱用防止教室や薬物乱用防止ポスター展など、全国のライオンズクラブが積極的に取り組む活動が、より一層充実したものとなるよう支援します。



特別支援学校フットサル大会事業



- 全国1,146校の特別支援学校には6,353名が在籍し、その90%は知的障がいの子供です。
- スポーツにより健康な体と社会性を身に付けることができますが、特別支援学校を対象にしたスポーツの全国大会は皆無です。
- フットサルはボール一つあれば、狭い屋内で仲間と一緒に楽しむことができます。
- 当財団は、特別支援学校の生徒のフットサル大会を地域ごとに開催し、子どもたちの成長に寄与する事業を行います。



災害支援

豪雨災害被災地の子ども食堂を支援

令和2年7月豪雨で深刻な被害を受けた熊本県人吉市で活動する子ども食堂に対して、設備・備品の購入を支援。337複合地区内の準地区及びクラブから、熊本の被災地支援のために寄せられた寄付、総額683万円を活用して支援を行いました。

組織概要

●名称 一般財団法人日本LCIF

●目的

ライオンズクラブ国際協会の理念及びライオニズムの精神に基づき、様々な奉仕活動及び人道支援を通じて社会的弱者及び生活困窮者に対する救済・支援、並びに青少年の健全な育成に関する事業を行い、もって地域社会及び日本国民の利益の増進を図るとともに、世界平和及び国際相互理解の促進に寄与する。

●設立 令和2(2020)年5月12日

●代表者・事務局

理事長：不老安正（ライオンズクラブ国際協会 元国際理事）
事務局長：伊賀保夫（元330-A地区ガバナー）

●事務局所在地

〒104-0028
東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
日本ライオンズ事務所内
Tel/Fax: 03-6262-6108
Email: office@lcif.or.jp

寄付について

●振込先

銀行名：三井住友銀行
支店名：東京公務部
口座：普通預金 0178781
口座名：一般財団法人日本LCIF【ザイ）ニホンエルシーアイエフ】

*ご寄付頂ける際は、寄付報告書にご記入の上、メールもしくはFAXにて事務局へお送りください